

【様式 2】

平成 13 年度授業実践結果

学校名：古川町立古川中学校

授業者等	授業日	平成 14 年 2 月 6 日	学 年	第 3 学年
	授業者	中口 清浩	教 科	理科
	校 種	中学校	単 元	大地の変化と地球
	ねらい	火山岩、堆積岩を観察したこととパソコン等を利用した資料を関係づけて、地域の構造地質発達史を考えることができる。		
授業の流れ	前時までに 船津花崗岩 大雨見山火山岩類（流紋岩質溶結凝灰岩） 手取層の礫岩、砂岩、泥岩 を観察 各岩石の分布を示しながら、この地域の地質構造発達史を考える。 課題 どのようにして岩石ができ、古川町ができたのだろうか。 各自パソコンで調べる。 ・ 検索エンジン ・ 岐阜大学教育学部カリキュラム開発センター内 「岐阜県の地学」 各岩石の年代、成因がわかる。 2 億年前 船津花崗岩 ゆっくり冷えた。 1 億年前 手取層 湖のようなところで、堆積。 5 千万年前 大雨見山火山岩類 火砕流噴出 急激に冷える 地殻変動 意見交流 まとめ PowerPoint を利用して、地質構造発達史をシミュレーションする。 自己評価 調べ学習ができたか。意見交流ができたか。			
	・ 調べ学習について パソコン室で、40 台のパソコンで調べることができた。光ファイバーで快適に検索することができた。生徒は、まだ経験不足の点があり、今後、このような学習をおこなう中で、情報収集する力を培うことができるのではないかな。			
	・ PowerPoint によるまとめ 手取層が、キョウリュウ時代の白亜紀の堆積物であることを動画を交えて、説明することができた。			
	考 察			

※ I T 活用が分かるように記述願います。